

港北区の「活動」をつなぐ情報誌

楽らく遊ゆう学がく

第306号

2023(令和5)年8月
隔月発行

【編集・発行】港北区区民活動支援センター

特集

四季折々の野草をいただくテントカフェ 「ランチボックス」



(ランチボックスの皆さん)

- P.2 特集 「ランチボックス」
- P.3 「わがまち港北」スポット 大綱中コミュニティハウス
- P.4 連載「シリーズ わがまち港北」第235回 林 宏美 著
- P.5 遊学スポット (港北区内・周辺のイベント情報)
『港北区グループ・団体ガイド』登録グループからの会員募集
- P.6 区民活動支援センターからのお知らせ



メンバーが「マロンハウス」と呼ぶ大きな栗の木の下にテントを張り、テーブルと椅子をセットして、緑あふれる屋外で野草ランチをいただく。そんなユニークな活動をかれこれ3年間も続けているのが「ランチボックス」です。酷暑や厳冬、雨降りの日を除き月1回のペースでランチ会を実施してきました。コロナ禍でも状況をみながら継続したことで、今や口コミで毎回さまざまなお客さまが集まってくるといいます。自然と向き合いながら四季折々の変化を楽しみ、人と人が繋がる居場所作りを目指し活動する「ランチボックス」の取組をご紹介します。

合い言葉は「食べて、話して、笑って、学ぶ！」

きっかけは仲良しママ友たちのおしゃべりから

ランチボックスは、子育てから手が離れた元祖ママ友たちが「みんなで集まっておいしいものを食べながらおしゃべりできる場所があればいいよね」という発案から自然発生的にスタートした活動です。中心メンバーは5人。お子さんが学童保育に通っていた頃に知り合い、かれこれ30年以上のお付き合いだといいます。「当時は、それぞれ仕事をしていて、ゆっくり会って食事をする時間が取れなかったけれど、今は、みんなで集まって毎回のメニューを考えたり、これからの夢を語り合うのが楽しい。地域でおひとり暮らしの方に、一緒にごはんを食べようと声をかけたら来てくれるようになって、ここは気楽な交流の場になっているのかしら？」とリーダーの田代さん。



木漏れ日の下で



栗の木の下のテントカフェ

「みんなで集える居場所が欲しくて、お店を作ることも考えたけれど、体力的、資金的にちょっと難しく、いろいろな所に行って場所を探したんだけど…」条件に見合う場所には巡り合えなかったと言います。そんな時、田代さんの「外でテントがあるじゃない！」の一言で、そうかその手があった！と、賛同したメンバーが1万円ずつ出し合い、大きなテントを購入し、自分たち流の“交流の場”を作ることになったそうです。



ランチ会の様子

区内には野草が採れる自然豊かな場所がたくさんある

ランチで提供する料理は、メンバーがそれぞれの家で調理したものを持ち寄り、現地でプレートに盛り付けるスタイル。ウェルカムドリンクに始まり、メインプレート、デザートまで、毎回心のこもった料理が並びます。ランチボックスの目玉である「野草」は、メンバーの中に野草に詳しい方がいたことがきっかけで、メンバー間でも野草食への興味が膨らみ、野草を観察し、自ら摘んで食べるアイデアが生まれました。取材に伺った日は、よもぎ、せり、かたばみ、ごごみ、おかわかめ、ハルジオンなどがプレートに並びました。「おかわかめは、うちのベランダで緑のカーテンとして育てたものなのよ」と田代さん。野草が少ない季節には、干したあざみなども使うそうです。ゲストに話を聞くと「毎回新しい発見があるの」「どのお料理も手が込んでいておいしいですね」といった声が聞こえてきました。



野草ランチプレート



野草の話をする田代さん

これだけ回数を重ねたランチ会でも、活動日が近づくとうまくいくのかなあ？と毎回緊張するそうです。でも、ゲストの皆さんが喜んでいる顔を見ると、なんとも言えない充実感や達成感を味わえると言います。会場まで足を運ぶことのできない方には、お弁当の配食サービスも行っています。

また、食後には、野草を使ったワークショップも不定期で実施。5月は、ドクダミを使った化粧水を作り好評でした。

食べて、話して、笑って学ぶ。ここは、緑に包まれて、みんなが自然にいかされていることを実感できる癒しの交流の場です。

知らない野草は、絶対に採ったり、食べたりしないでね。



東急東横線大倉山駅を下車し、改札を出て右側には、ギリシャ建築様式の街並み「大倉山エルム通り商店街」が伸びています。途中「大綱中学校前」バス停を左側に折れると、横浜市立大綱中学校が見えます。その敷地内に「大綱中コミュニティハウス」があります。ここでは、スポーツや文化・芸術、子育てなど、さまざまな分野の人たちが活動しています。市民図書室・ミーティングサロンは、新刊本などの図書の貸し出しや、少人数での打合せなどにも活用され、地域交流の場として親しまれています。今回は、大綱中コミュニティハウスで活動している団体をご紹介します。



大綱中コミュニティハウス入口

住所：横浜市港北区大倉山3-40-2

電話：045-547-2761 FAX:045-547-2761

開館時間：9:00～21:00(祝日・祭日も同じ)

休館日：毎週火・金曜日、年末年始(12月29日～1月3日)

交通：東急東横線大倉山駅下車徒歩約5分

公式ホームページはこちら

<https://www.kouhoku-ksk.or.jp/ootsuna/>



きらびやかな衣装を身につけ非日常の体験ができるフラダンスと社交ダンス

★フラダンスサークル「フラ港北レファ」

大倉山南町会の老人会「^{こうれい}幸齢会」の花岡正敏会長が推薦するフラダンスサークルです。ゆったりと音楽を聴きながら、腕を水平に指先まで神経を行き届かせて踊ります。腕の動きや曲を理解するとフラダンスの楽しみがさらに深まります。「愛や自然、家族への感謝を込めて踊るのでとても楽しい。」とのことでした。また、シルバー芸能大会に参加することを目標に練習しているので、やりがいもあるそうです。「美容と健康を維持して、人生をもっと楽しんでいきたい。」と話していました。現在60～90才代のメンバーで練習していますが、初心者大歓迎！会員募集中です。1回500円の会費は、こども食堂に寄付をしています。個人で楽しみ、なおかつ地域貢献にもつながっています。



★社交ダンス「すずらん」

十数年前に発足した「すずらん」は、現在会員6名。花こぼしが好きな代表者が名付けました。初心者は簡単なステップから教えてもらえるので、興味があればどなたでも、気軽に始めることができます。中級者は、ワルツ・タンゴ・ルンバ・チャチャチャ・ブルース・マンボ等、音楽に合わせて楽しく踊ることができます。



★社交ダンス「横浜レッツダンス」

発足して15年。現在会員は12名。男性が3名なので、パートナーを交替しながら踊ります。個人レベルに合わせて運動量は選べるので、どなたでも楽しむことができます。「オシャレして、音楽を聴いて、身体を動かして、仲間と話をすることで、健康が維持できます。生涯スポーツですよ。」と、メンバーが話していました。



「フラ港北レファ」



「すずらん」



「横浜レッツダンス」

戦争の記憶と記録を未来へ — 「終戦秘話」の振り返りを兼ねて—

シリーズわがまち港北では、毎年8月の原稿を中心に太平洋戦争に関わる話題を「終戦秘話」として取り上げてきました。「終戦秘話」は平成11年(1999年)8月を初回として、これまでに25回掲載しています。終戦から今年で78年が経ちます。戦争の記憶を継承していくために、記録を残し伝えていくことは不可欠です。連載の中断を挟んで最新の「終戦秘話」掲載からも既に6年が経ちました。読者の方の中には存在を知らない方もいらっしゃると思いますので、振り返りも兼ねて過去の「終戦秘話」をご紹介します。

下記は25回の「終戦秘話」の一覧です。シリーズわがまち港北の掲載回、掲載時の題名、内容に関する地区名の順に記しました。全て大倉精神文化研究所のホームページでお読み頂けます。また、1～11は『わがまち港北』(2009年)、12～16は『わがまち港北2』(2014年)、17～25は『わがまち港北3』(2020年)に掲載しています。

1. 第8回 終戦秘話 幻の神奈川高等学校(大倉山)
2. 第20回 終戦秘話2 日吉台地下壕(日吉)
3. 第32回 終戦秘話3 日誌が語る戦争の日々(大倉山)
4. 第33回 終戦秘話4 日誌が語る横浜大空襲から終戦(大倉山)
5. 第44回 終戦秘話5 大倉山と海軍気象部(大倉山)
6. 第56回 終戦秘話6 慶應義塾と大倉山(日吉・大倉山)
7. 第69回 終戦秘話7 米ソの暗号を解読せよ!(大倉山)
8. 第80回 終戦秘話8 米軍機の置きみやげ
(綱島・菊名・城郷・篠原・大倉山)
9. 第92回 終戦秘話9 国民学校と学童疎開
(大倉山・新吉田・新羽・日吉・城郷・高田)
10. 第104回 終戦秘話10 大倉山の照空灯
(高田・篠原・城郷・大倉山・菊名・大曾根)
11. 第116回 消えた鐘の音 —終戦秘話その11—(大倉山・新吉田)
12. 第128回 配給は...、もらえるの? —終戦秘話その12—
(大倉山・菊名・樽町・綱島)
13. 第140回 戦争体験の記憶と記録 —終戦秘話その13—
(大倉山・新吉田・篠原・菊名・日吉・新羽)
14. 第152回 岸根公園の接收 —終戦秘話その14—(城郷)
15. 第164回 海軍気象部と横浜大空襲
—終戦秘話その15—(大倉山)
16. 第165回 海軍水路部の疎開 —終戦秘話その16—(大倉山)
17. 第188回 日吉台地下壕の現在・過去・未来
—終戦秘話その17—(日吉)

18. 第189回 日誌が語る日吉の連合艦隊司令部
—終戦秘話その18—(日吉)
19. 第200回 大倉山への資料疎開よもやま話
—終戦秘話その19—(大倉山)
20. 第201回 歓成院裏山の防空壕 —終戦秘話その20—(大倉山)
21. 第212回 石野瑛と武相中学校 —終戦秘話その21—(篠原)
22. 第213回 武相中学校と戦争 —終戦秘話その22—(篠原)
23. 第214回 芝浦工業大学の^{あきら}大倉山運動場と幻の太尾校舎
—終戦秘話その23—(大倉山)
24. 第224回 横浜ゆかりの歌手 渡辺はま子さんと菊名
—終戦秘話その24—(菊名)
25. 第225回 古い資料からの新たな発見
—終戦秘話その25—(大倉山・篠原)

地区別で見ると、大倉山の話が半分以上を占めます。これは筆者の勤務先の研究所が大倉山にあり、当初は研究所の資料から原稿を書く機会が多かったためです。また、日吉には連合艦隊司令部地下壕をはじめ、海軍関連の施設が多数存在したことから、日吉の話も多くなっています。一方でまだ取り上げていない地域もあります。区内全ての地区の「終戦秘話」を原稿にするのが筆者の今後の目標です。

戦争に関する記録としては、横浜の空襲を記録する会が編集・刊行した『横浜の空襲と戦災』全6巻(1975～77年)があります。また、『伝えたい、街が燃えた日々を一戦時下横浜市域の生活と空襲—』(2012年)にも貴重な戦争体験談が掲載されていますし、巻末には編者の小野静江さんによる大倉山周辺を中心とした東横線沿線の空襲に関する調査成果も掲載されています。横浜市立図書館や研究所附属図書館で所蔵していますので、お手に取ってご覧ください。他にも、学校の記念史などに卒業生の回想として戦争中の話が載っていたりもします。

残した記録も目にする機会がなければ意味を持ちません。戦争に関する様々な記録を紹介することも、戦争の歴史を未来につなげていく一助になると信じています。そして終戦秘話はこれからも続いていきます。

記: 林 宏美 (公益財団法人大倉精神文化研究所図書館運営部長 兼 研究員)



シリーズわがまち港北 終戦秘話
(大倉精神文化研究所HP)

遊学スポット(港北区内・周辺のイベント情報)

ここに掲載されている内容は、2023(令和5)年6月28日現在の情報です。詳細は、問合せ先にご確認ください。

港北童謡の会

①スペシャル・サマーコンサート『ダ・カーポ』in こうほく

日時:8月22日(火) 14:00~16:00

参加費:2,500円(前売2,000円)

②童謡唱歌を皆さん一緒に 柴山秀明先生

日時:9月19日(火) 14:00~16:00

13:30頃より開演前ミニライブあり

参加費:990円(事前申込不要)

会場:港北公会堂

問合せ:はかりや TEL 070-5556-1491

山本 TEL 090-6924-4650



港北図書館友の会「読書サロン」

① 8月27日(日)人間を考える「人間論」

② 9月24日(日)社会問題「社会と経済の物語」

時間:各回 13:30~16:30

参加費:無料

会場:港北図書館2階会議室 当日直接会場へ

問合せ:事務局 TEL 423-2223(八木クリニック内)



大倉山ジョイフルコンサート

「石井 希衣 フルート・リサイタル」

日時:9月17日(日) 14:00開演(受付開始13:30)

会場:港北公会堂

料金:大人2,000円

高校生以下1,000円(全席自由)

未就学児入場不可 予約専用電話:080-8424-5108

問合せ:HP <https://www.ohkurayama-joycon.com>



神奈川区いまむかしガイドの会「神奈川歴史散歩」

①9月30日(土)「高田・日吉」(約5.5キロ)

集合:8:30~9:00 市営地下鉄 高田駅

②10月14日(土)「川崎大師」(約4.5キロ)

集合:8:30~9:00 京浜急行 六郷土手駅

解散:12:00~12:30 参加費:500円(保険料含)

定員:約100名(応募者多数の場合は抽選)

申込:HPの応募フォームまたは往復はがきに開催日・コース名

〒住所・氏名・電話番号・参加者全員の氏名を記入の上、

〒221-0802 神奈川区六角橋1-10-11

すぺーするっかく内「NPO法人 神奈川区いまむかしガイドの会」

締切日:①9月15日②9月29日

問合せ:長谷川 TEL 090-8817-0001

「遊学スポット」掲載希望の方へ

次号は307号(2023年10・11月発行号)です

「遊学スポット」ならび「登録グループからの会員募集」の締切は
8月28日(月)です。概ね10月10日~12月10日迄のイベント
情報をお寄せください。詳しくは区民活動支援センターまで!

『港北区グループ・団体ガイド』登録グループからの会員募集

岳精流日本吟院(詩吟)

大きな声を腹から出してストレス解消。日本の伝統文化である
詩歌を親しみ、吟友と共に楽しく学ぶ。

日時:月3回金曜 15:00~17:00(祝日を除く)

無料講習を8月18日・9月8日に行います。

会場:新田地区センター3階

問合せ:階伝師範 武 龍臣(臣子) TEL 090-3819-4418

チャイムエコー(楽器・トーンチャイムの同好会)

綱島にて毎月3回、女性4名、男性2名の6名のメンバーで、
曲目はクラシックから童謡、昭和の歌謡曲まで、幅広く練習を
しています。8月も練習します。体験参加をお待ちしています!

日時:第1・2・3土曜日 10:00~12:00

会場:キング堂(港北区綱島西2-7-18 タウンアイ2階)

問合せ:関口 TEL 090-1816-8923



Kサポーターの皆さん

花と緑でつながるこうほく ~グリーンボランティア活動~

[Kサポーター]

「(K)港北区を(K)公園から(K)幸福にする」という目的で
結成された、公園愛護会活動を行うグループです。現在は
太尾南公園及び同公園エレベーター前花壇の手入れが
主ですが、今後は他の公園愛護会の応援もしていきたいと
考えています。区内のどちらにお住まいの方でも参加可能!
活動は毎月第1金曜日13:30~15:00(8月はお休み)
只今メンバー募集中!詳しくは下記まで。

ボランティアに関するお問合せ

045-531-7363(港北土木事務所 下水道・公園係 今井)



春は桜とコラボレーション

区民活動支援センターからのお知らせ

花と木のウォーキングツアー（第1回および第2回）参加者募集！

第1回 秋風揺れるメドウガーデンを歩く（行程:約3.0km）

ポール・スミザー氏の考えを具現したナチュラルガーデン(メドウガーデン)(ポール・スミザー氏デザインの花壇・新横浜公園内)等を、メドウガーデンクラブメンバーがガイドします。

実施日:9月16日(土) 集合時間:10:00 集合場所:新横浜駅1階タクシー乗り場前

参加費:500円(保険料等) 募集人数:40人(応募多数の場合は抽選)

応募方法:本ツアーは日産スタジアムエントリーフォームからのみの受付となります。

応募締切:8月31日(木) ※はがきでの応募はありません

第1回ツアーの申し込みについての問合せ先:日産スタジアム TEL 045-477-5000



メドウガーデン
<(公財)横浜市スポーツ協会提供>



応募フォームは
← こちらから

第2回 初秋の岸根公園から新横浜へ（行程:約4.0km）

秋色に染まり始めた岸根公園から丘沿いに古刹を巡り、琵琶法師と大蛇にまつわる神社を訪ね、新線開通で話題の新横浜駅までをたどります。

実施日:9月30日(土) 集合時間:10:00 集合場所:市営地下鉄 岸根公園駅地上駅前広場

参加費:500円(保険料等) 募集人数:60人(応募多数の場合は抽選)

応募方法:応募フォームまたは往復はがきに①ツアー名「花と木2」②〒住所・氏名(フリガナ・年齢・電話番号)、複数人の場合は全員の氏名(フリガナ)・年齢③返信用に住所・氏名を記入の上、区民活動支援センターへ 応募締切:9月19日(火) ※はがきで応募の場合は必着



岸根公園篠原池



応募フォームは
← こちらから
8月18日受付開始

ウォーキングマップ揃ってます！

「歩いて魅力発見！港北区ウォーキングマップ」(作成:港北観光協会)のパートⅡ、パートⅢが発行されました。先に出ていたマップと三部揃いました。「花と木のウォーキングマップ」とども、お役立てください。

※ウォーキングの際には、高温注意報・熱中症警戒情報や気象注意報・警報が出ていないことをご確認ください。

※薄暮や夜間には、車に存在を示すことができる明るい服装や、反射材を身につけましょう。



← こちらから
ダウンロードできます

4階⁴⁸ 窓口カウンターにあります



「港北区グループ・団体情報」ページリニューアルしました



おもに区内の公共施設を会場として、さまざまな分野で活動しているグループや団体を、区民活動支援センターのホームページで紹介しています。 ※政治や宗教、営利を目的とする活動団体は対象外

横浜市の電子申請・届出システムでいつでも登録できます。ご登録をお待ちしています！

港北区グループ・
団体情報



応募フォームは
← こちらから

ご意見ご感想をお寄せください

港北区区民活動支援センター(港北区役所4階48番窓口)

〒222-0032 港北区大豆戸町26-1

TEL&FAX 540-2246

Eメール ko-center@city.yokohama.jp

★開館時間★ 月～金曜 8時45分～17時(土・日曜、祝日、年末年始除く)

港北区区民活動支援センター

検索



遊学スポット(港北区内・周辺のイベント情報)

p.5に掲載できなかった情報の追加です。
掲載されている内容は、2023(令和5)年6月28日現在の情報です。詳細は、問合せ先にご確認ください。

港北ボランティアガイドの会 「新吉田の谷戸めぐりと火渡り修行」(約3.0km)

日時:10月9日(月)11:00~12:30

集合:市営地下鉄 東山田駅 解散:圓應寺

定員:60人(応募者多数の場合は抽選)

参加費:500円(保険料等)

申込:HPの応募フォームまたは往復はがきに

①「火渡り修行」②〒住所・氏名(ふりがな)、参加者全員の氏名・年齢・電話番号

③返信用に宛名を記入の上、区民活動支援センターまで

締切日:9月25日必着

問合せ:港北ボランティアガイドの会 <https://kouhokuvlg.yokohama/>



火渡り修行道場(圓應寺)

(楽遊学 2023年8月号) 巻末